

| 学友会誌 Vol.39目次 -2019年12月発行- | 執筆者(敬称略) | 肩書 |
|--|-------------------------------|--|
| 表紙絵「妙高残雪」 | 高安 健 | 高安内科循環器科クリニック 院長 |
| 総会特別講演 | | |
| 大阪大学医学部とゲノム科学の45年を振り返って | 松原謙一 | 名誉教授 |
| シンポジウム | | |
| がんゲノム医療の課題と展望 | 谷内田真一 向井洋介 坂井大介 加藤和人 | がんゲノム情報学 教授 厚生労働省 健康局 がん疾病対策課 附属病院 がんゲノム医療センター 特任講師 医の倫理と公共政策学 教授 |
| 生涯教育講座『認知症も含む神経変性疾患』 | | |
| ①はじめに | 望月秀樹 | 神経内科学 教授 |
| ②パーキンソン病 病態と最新治療 | 馬場孝輔 | 神経内科学 特任講師 |
| ③パーキンソン病の手術療法 up to date | 貴島晴彦 | 脳神経外科学 教授 |
| ④アルツハイマー病 病態と最新治療 | 池田 学 | 精神医学 教授 |
| ⑤アルツハイマー病以外の認知症 病態と最新治療 | 森 悦朗 | 連合小児発達学研究所 行動神経学・神経精神医学寄附講座 寄附講座教授 |
| ⑥ALSの病態と根治療法確立への展望 | 河原行郎 | 神経遺伝子学 教授 |
| ⑦認知症の早期診断とフレイル | 武田朱公 | 臨床遺伝子治療学寄附講座 准教授 |
| ⑧神経変性疾患と神経病理 | 村山繁雄 | 東京都健康長寿医療センター神経内科・ハートリソースセンター・高齢者ブレインバンク・神経病理 部長 |
| ⑨脊髄小脳変性 病態と最新治療 | 永井義隆 | 神経難病認知症探索治療学寄附講座 寄附講座教授 |
| 特集『放射線科学基盤機構』 | | |
| ①放射線科学基盤機構の概要 | 篠原 厚 | 理学研究科 化学専攻 教授・放射線科学基盤機構 |
| ②21世紀の核医学治療 | 畑澤 順 | 大阪大学名誉教授・大阪大学核物理研究センター 次世代がん治療研究部門 特任教授 |
| ③医理核連携によるα線核医学治療の開発 | 深瀬浩一 | 放射線科学基盤機構放射線科学部門、大学院理学研究科 教授 |
| ④放射線治療：最先端放射線治療、粒子線治療、重粒子線治療 | 小川和彦、隅田伊織、磯橋文明 | 放射線治療学 教授、放射線治療学 助教、放射線治療学 准教授 |
| ⑤ハイブリッドイメージング | 巽 光朗 | 病院 放射線部 講師 |
| ⑥画像診断と人工知能（AI） | 富山憲幸 | 放射線医学 教授 |
| ⑦放射線の生体影響 -基礎研究データから- | 田内 広 | 茨城大院理工学研究科 教授 |
| ⑧医療用RI、加速器施設、RI供給など | 渡部浩司 | 東北大サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター 放射線管理研究部 教授 |
| ⑨放射線科学基盤機構における人材育成から国際展開について | 渡部直史 | 核医学 助教 |
| ⑩放射線医療の高度化に対応する医学物理士のがんプロ教育・人材育成 | 小泉雅彦 | 保健学専攻 医用物理工学講座 教授 |
| ⑪放射線安全管理の最近の動向、大阪大学放射線科学基盤機構における放射線安全管理体制、及び学内放射線施設の特徴的な取り組み | 吉村 崇 | 放射線科学基盤機構附属ラジオアイソトープ総合センター 教授 |
| 『地域医療に関する研究助成報告』 | | |
| ①住友病院人間ドックの受診者、全27,052例のデータを用いて腹囲変化やアディポネクチン濃度変化による糖尿病発症率を研究する | 柏木理佐 | (採択時)住友病院 内分泌代謝内科 後期研修医(現)阪大医 内分泌・代謝内科学 大学院生 |
| ②VZV関連顔面神経麻痺症例の早期診断の開発 | 原田祥太郎 | (採択時)市立東大阪医療センター 耳鼻咽喉科・頭頸部外科医長(現)阪大医 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 大学院生 |
| ③下部直腸癌における側方リンパ節転移の術前診断システムの構築 | 宗方幸二 | 市立池田病院 消化器外科 医長 |
| 『特別寄稿』 | | |
| 国指定重要文化財トコウ迎賓館で発見された「大阪佐多」の石碑 | 芦屋タイムトラベル | 広報あしや 平成31年(2019年)2月15日号 No.1246より転載 |
| 『編集後記』 | | |
| | 森井 英一 | 会誌編集委員長・病態病理学 病理診断科 教授 |

※諸事情により、御執筆者に変更が生じる場合がございます。